杉並区

26．5．23
杉並区広報課

自治体スクラム支援会議が開催されました！

5月23日、群馬県東吾妻町で、杉並区自治体スクラム支援会議が開催されました。
この会議は、東日本大震災の被災地である南相馬市への支援をきっかけに平成23年4月に杉並区と交流のある自治体で立ち上げたもので、被災直後における基礎自治体の水平的支援の有効性から国への法改正を要請するなどの活動を行ってきたものです。

杉並区では、災害が発生した際における応急・復旧対策を円滑に実施する相互支援体制を確立するため、他自治体と災害時相互援助協定を締結しています。
東日本大震災では、この災害時相互援助協定に基づき、直ちに協定の締結先である福島県南相馬市に対する物的人的な支援を実施しました。同時に、杉並区と災害時相互援助協定を締結している、群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市、北海道名寄市とスクラムを組んで南相馬市への支援を行い、高い成果を上げることができました。

その後、青梅市、北塩原村も加わり、7つの基礎自治体でスクラム支援会議を構成し、南相馬市への支援をはじめ、災害時における基礎自治体の主体的な支援活動を推進するための法改正の要請や日常的な交流を行ってきました。

本日、23日(金)午後2時30分から、群馬県東吾妻町にある杉並区民営化宿泊施設「コニファーいわびつ」（東吾妻町大字原町4399）では、7自治体の首長が出席し、第8回自治体スクラム支援会議が開催されました。
平成16年の中越地震と平成19年の中越沖地震の被災地である小千谷市の谷井靖夫（やついやすお）市長、そして平成23年の東日本大震災で大きな被害を受けた南相馬市の桜井勝延（さくらいかつのぶ）市長から、復興への道のりについて報告があったほか、各首長からは、それぞれの団体が行っている災害対策についての課題が報告されるなど、今後の防災対策の強化に向けた意見交換が行われました。
また、会議には、大規模な液状化被害からの復興を進める千葉県浦安市の松崎秀樹（まつざきひでき）市長からも、「自治体支援の規範となる取り組み」として自治体スクラム支援会議への高い評価を頂くとともに、「今後とも、自治体スクラム支援会議のご活躍を期待する」とのメッセージが届けられました。

この会議は、今後も、先進的な防災対策に取り組む自治体とのネットワークを広げ、大きな災害時に基礎自治体が主体的にするための環境整備に取り組んでいくこととしています。

【問い合わせ先】危機管理対策課　３３１２－２１１１　内線　１５８１